

明るい めいほ

第24号
H31.3

発行：明保地区明るいまちづくり協議会
〒320-0851
宇都宮市鶴田町 3668-36
明保地域コミュニティセンター内
TEL/FAX 028(648)7253
Eメール:miho_com@snow.ucatv.ne.jp

地域ぐるみで取り組もう 地域包括ケアシステム・^{たい}支え合い^{たい}体

団塊の世代が75歳となる2025年に向けて、後期高齢者を中心とした高齢者人口が急激に増え、在宅医療を伴う介護ニーズや高齢者一人暮らし・老々世帯の生活支援ニーズなどの増加が見込まれることから、平成26年の介護保険法の改正により、生活支援体制整備の法律が示されました。

高齢者の皆さんが住み慣れた私たちのまち「明保地区」で、いつまでも安心して暮らしていただくための地域包括ケアシステム・^{たい}第二協議体【^{たい}支え合い^{たい}体】の構築を進めています。

自分のできる範囲で支え合いに参加することが大切ね



次ページに続く

「地域包括ケアシステム」・第二協議体とは？

高齢者がいつまでも住み慣れた地域や家庭で自分らしい生活をつづけることができるよう、必要となるサービス・支援を包括的に確保する体制のことをいいます。

「第二協議体」は高齢者を取りまく様々な課題を把握し、地域住民の力で解決できることを検討、推進するものです。

在宅での医療介護、これらに関する連携・サービス支援、認知症対策、高齢者への支え合い生活支援、介護予防策の充実・社会参加を推進するための体制などの構築です。

明保地区では地域の皆さんに親しまれるよう言葉の呼称を「支え合い^{たい}体」とルビ合わせをしました。

これらの推進にあたり、地域の皆さまのご意見・ご要望などを反映するため、65才以上の方々からアンケートをいただきました。

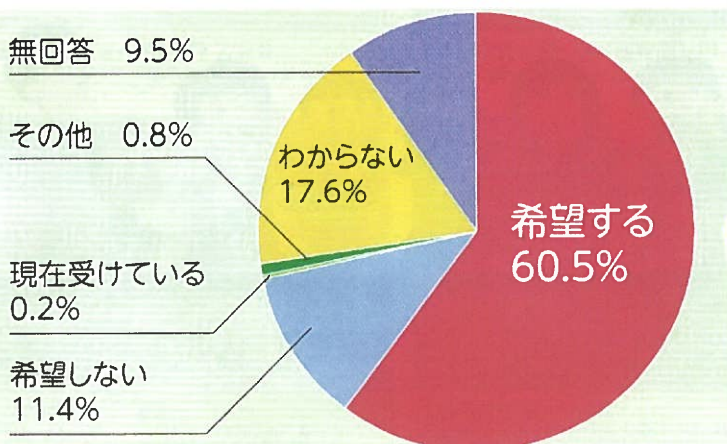
これらのアンケート結果を検討分析し、地域住民に密着したシステムづくりに反映したいと考えています。



多くの方が住み慣れた自宅などで 医療や介護を受けることを希望しています

(宇都宮市アンケート調査による)

● 在宅医療や介護を希望するか



できれば
住み慣れたところで
暮らし続けたいね



明保地区・地域包括ケアシステムの構成

	メンバー	担当所掌
地域ケア会議 *6ヶ月毎開催	(公的機関代表者) 地域包括支援センター 砥上 市高齢福祉課 西市民活動センター 市社会福祉協議会 (地域関係機関・団体推薦者・事業者) 宇都宮市医師会 栃木県看護協会 在宅介護サービス提供事業者 外老人、介護関係施設事業者 (明保地区関係団团长) 明るいまちづくり協議会 連合自治会 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会 健康づくり推進協議会 老人クラブ連絡協議会 雨情ボランティアクラブ 福祉協力員連絡会	地域包括ケアシステム構築に向けた ・地域資源・在宅医療介護など課題の分析検討 ・指導助言、連携支援に関すること ・地域住民への生活支援、サービスの確保に関すること



	メンバー	担当所掌	
第二協議体 (支え合い体^{たい})	コアメンバー会議 *2ヶ月毎開催	(公的機関代表者) 地域ケア会議構成員と同じ (明保地区関係団团长) 地域ケア会議構成員と同じ	・地域ケア会議提示の反映 ・生活支援活動を推進するための体制・運営づくりの構築 ・地域住民への理解策 (広報誌、HP、アンケートなど) ・生きがい・健康づくりなど介護予防策への醸成づくり
	全体会議 *6ヶ月毎開催	コアメンバー会議構成員と同じ (明保地区関係団体) まちづくり協議会副会長 連合自治会副会長 自治会副会長・理事 (ブロック長・組長・区長) 民生委員 福祉協力員 *老人クラブ連絡協議会 健康づくり推進協議会 雨情ボランティアクラブ は各団体の推薦者5名	・同上に関する理解・周知 ・実際活動展開におけるフォロー ・要望意見の提示



実際活動への実践・行動

雨情旧居・市の認定建造物に指定される

雨情旧居は日本文化遺産建物として指定されていましたが、建物の保存補償については個人所有物件であり、所有者の稲毛登志一氏が老朽化による補修維持や先の東日本大震災による損壊修復など、永きにわたり私費で賄いながら保存してこられました。

この度の市の認定建造物指定により、負担の半額を市が補助することになり、このほど損壊していた屋根や内部を修繕しました。

永年の懸案であった旧居の内部公開については、所有者の稲毛氏と明保地区明るいまちづくり協議会と協議しながら、パンフレット、展示物件の整備やガイド対応などを進めているところです。



地域文化の伝承を目指した 梵天祭り実行委員会が発足

鶴田・羽黒神社の梵天祭りに明保地区青少年育成会が平成10年に初めて梵天を奉納し、

・平成19年に明保地区明るいまちづくり協議会・梵天祭り実行委員会に移行

・平成20年には「ふるさと宮祭り」開催委員からの依頼により参加

以後、継続して郷土の梵天文化を継承しながら奉納・参加しています。

20年の機を捉え、鶴田梵天の将来に向けた的確な継承と時代性に適合した実行性のある新しいカタチの「明保地区梵天祭り実行委員会」を発足しました。

中枢となるメンバーは、梵天文化に情熱と畏敬の念を抱いている若い年代層となっています。



春・秋の県民総ぐるみ交通安全運動に14年間連続受賞

明保地区では「交通事故撲滅0」を合言葉に、地区の各団体によるオール参加型で運動を展開し、運動期間中は地区中央にある鹿沼街道にて朝夕、立哨活動を行っています。

子どもたちによる交通安全標語大会を行い優秀作は拡大掲示し、通行している地域住民に披露しています。また、高齢者対象の交通安全講習会を開催するなど活動内容が顕著なことから、宇都宮中央交通安全協会から連続して最優秀、優秀賞を受賞しています。



生きがい実践塾9年・47回継続して開催 日本の神話と古代史のロマンを探る

まちづくり講座として毎年5・6回シリーズ、9年間、47回継続して開催しています。講師はNHK宇都宮局講座の講師を担っている高橋昭夫先生で、邪馬台国の卑弥呼、大和朝廷など日本誕生の謎を解き明かしながら、古事記、日本書記に記された神話のあらすじや、神武天皇から発祥した歴代天皇の歴史を臨場感あふれるタッチで熱く講義されています。

受講生は毎年、30名を超える人気ぶりで31年度、10年の節目を楽しみにしているファンが多くおり、来年度も6回シリーズで開催予定となっております。

高橋先生は三の沢西自治会役員や雨情ボランティアクラブでも活躍されており、地元では馴染の方です。



まちのイベントあれこれ

【流しソーメン大会】

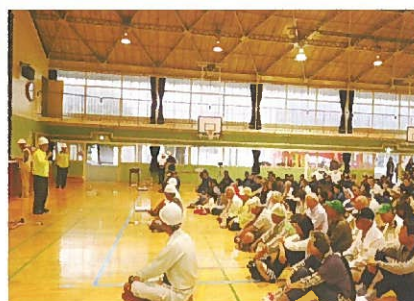
8月11日(土) 雨情ボランティアクラブ、三の沢北ボランティアの会員(総勢80名)は、児童の登下校見守り、防犯パトロール、放課後授業などの活動を介して、児童たちとの交流がありますが、更なる交流を深めるため父兄を交えて恒例の流しソーメン大会を開催しています。当日は天候に恵まれ、総勢150名が二つのラインで「揖保乃糸ソーメン」を堪能しました。また、プチトマト、巨峰ぶどう、ミカンの缶詰めなどを併せて流し、彩りを添えました。



【防災訓練】

9月15日(土) 当日はあいにくの雨天のため、明保小の体育館での開催となりましたが、300名を超える参加者により、情報連絡訓練、避難誘導訓練(各自治会・土砂災害指定住民、災害時要援護者、土砂災害指定) 応急救護訓練、防災用機材展示、119番通報訓練などを行いました。

限られたスペースの範囲内でしたが西消防署城山分署の署員、姿川消防団の団員の熱心な指導により、災害発生時の地域対応について理解を深めた訓練でした。また災害時の地域住民相互の助け合い(共助)の大切さも学びました。



【敬老会】

9月16日(日) 明保小学校体育館において佐藤宇都宮市長をお招きし、盛大に開催しました。交通手段のない招待者の方には送迎用タクシーの手配や、案内は、MLC(明保リーダーズクラブ) 実行委員には、社協、民生委員、福祉協力員、その他の協力者(放送、舞台、演芸)、招待者への子どもたちによる肩たたき、花束贈呈(100歳:1人 米寿:17人)などの工夫、協力により楽しい敬老会のひとときを過ごしました。



【体育祭】

10月7日(日)天高し青空の下、地区の老若男女が集い、5チームが20種目の競技を競い合いながら楽しい一日を過ごしました。

今年は接戦の結果、常勝の三の沢西Aチームが破れ羽黒台チームが優勝のトロフィーを獲得しました。雨情女性クラブの売店、宮の原中学校・陽西中学校生徒の協力、高齢者や地域の介護施設からの招待参加、最後は全員参加による「ドキュメント・ザ・誕生日」で締め括り活気ある楽しい体育祭でした。



【文化祭】

10月28日(日)実行委員の各部会(総務、展示、演芸、イベント、チャリティーバザー、模擬店、販売、健康体験・測定)の十分な事前打合せ、準備により当日は円滑に進行し、多くの地域のお客さんに喜んでいただきました。また、子ども会によるハロウィーンやブレッキーとブレクシーの参加、収集マニアによる招き猫展示(130体)などが加わり、近年にない盛況な文化祭でした。



【雨情まつり】

1月27日(日)第4回の「雨情まつり」を明保地域コミュニティセンターにて開催しました。明保小学生、雨情合唱団、ハーモニカクラブにより、雨情の歌を披露し、観客を交えて歌い、奏しました。今回は特別講演として明保小学校出身で地域の間庭美咲さんをお招きし、マリンバ演奏を披露していただきました。4本のマレットを巧みに操り、軽快に全身を使いながらの演奏と音色の素晴らしさに観客は酔いしれました。また美咲さんの友だちの池場さんのピアノ演奏も加わり、添いで下さいました。なお、美咲さんは4月から音楽専門の大学に入学し、更なる勉学に励むことになっています。健闘をお祈りします。

講演会は「雨情の一生」について島田弘二さん(明保地区明るいまちづくり協議会長)が講演されました。



めいほ あんなこと こんなこと



《コミセン管理運営委員会》毎月1回
「これからも明るい明保地区のために！」



《男の料理研究会》毎月1回
「第180回目を迎え益々腕が上がります」



《通学路フラワーロード》5/12
「きれいな花で登下校が楽しくなります」



《ちびっ子農園開校式》5/13
「今年も美味しい野菜ができるかな？」



《ときめき講座》5/24
「「もともと☆てん」さんによる演奏会！」



《まちづくりビジョン策定会議》6/3
「将来のために年2回会議を行っています」



《文学の旅》6/6
「今年は潮来花嫁さんを見てきました」



《フェンスアート》6/9
「思い思いに描かれています」



《雨情女性クラブ・セミナー》6/23
「「薬の話」ととても勉強になりました」



《健康づくりウォーキング》7/26
「ハンターマウンテンゆりパークをウォーキング」



《歩け中央公園・学べ博物館》11/3
「天気に恵まれウォーキングと博物館へ」



《スペイン料理教室》11/30
「イカ墨バエリアやクリームブリュレを作りました」



《餅つき体験》12/23
「今年も100名近い参加がありました！」



《凧あげ教室》1/12
「世界に一つだけの凧を作り飛ばしました」



《明保地区新年会》1/12
「明保地区の発展を祝して乾杯しました」